

## 経営・流通学研究科 経営・流通専攻 博士前期課程

### 【教育研究上の目的】

現代経済社会のグローバル化は一層深化し、ビジネス環境はますます自由化が進み、激しい競争社会となっている。このような状況の中にあって、経営・流通専攻では、激動するビジネス環境のなかで発生する諸課題を解決し、新たなソリューションを提示し、ビジネス社会の発展に貢献しうる専門職業人・研究者の育成を目的とする。

### 【教育目標】

経営・流通学研究科では、激動するビジネス環境のなかで発生する諸課題を解決し、新たなソリューションを提示し、ビジネス社会の発展に貢献しうる専門職業人・研究者を育成するため、次の教育目標を掲げる。

- ・グローバルな視点に立って経営を取り巻く経済社会の変化を俯瞰し、読み解き、分析できる能力を養う。
- ・経済社会の変化を分析し、課題を抽出し、その課題に対して解を導き出す能力を養う。
- ・問題設定から結論を導き出すまでのプロセスをまとめて論文にする能力を養う。

### 【ディプロマ・ポリシー】

経営・流通学研究科では、激動するビジネス環境のなかで発生する諸課題を解決し、新たなソリューションを提示し、ビジネス社会の発展に貢献しうる専門職業人・研究者を育成するために掲げた教育目標に基づき、以下の知識・能力を身につけた者に対して修士（経営学）の学位を授与します。

- ・国際的かつ中長期的な産業経済社会の変化に対する深い理解力と分析力。
- ・研究分野における喫緊の課題を体系的かつ連携的に考察する応用力のある基礎的研究能力と専門能力。
- ・研究者としての倫理観を身につけていること。
- ・これまでに修得し、蓄積した知識を結集して修士論文を作成する能力。

### 【カリキュラム・ポリシー】

ディプロマ・ポリシーで掲げる知識・能力を養うための体系的な履修プログラムとして、5つの研究コースを設定し、経営・流通学の基礎知識を修得するベーシック選択科目と各コースの専門知識を修得するアドバンス科目から編成しています。さらに、指導教員との討論を重ねて、修士論文を完成させるための演習が1年次と2年次に設けられています。

### 【アドミッション・ポリシー】

I T化、グローバル化した企業の諸活動に関する基礎知識を身につけたうえで、国際的かつ中長期的な視野とシステム思考に立った経営革新と流通革新の担い手として、専門的な知識と高度な問題解決能力と経営システムの構築能力を具えた、創造力豊かな専門職業人および研究者を目指す、以下のような学生を求めます。

- ・グローバルな活動をする企業の実態を理解している。
- ・企業活動においてI Tが果たしている役割を理解している。
- ・それぞれの分野における企業活動を取り巻くビジネス環境を理解している。
- ・企業が抱える課題に対して解を導き出すことに強い関心があること。

(選抜方法)

#### 【一般入試】

外国語 (40%)、専門科目 (20%)、面接 (20%)、学部評定平均値 (20%)

#### 【社会人入試】

面接 (50%)、書類 (50%)